

2025(令和7)年度

社 会

(40分 80点)

注 意

- 1 試験開始のチャイムが鳴るまで、表紙を開いてはいけません。
- 2 試験開始のチャイムが鳴ったら、まず解答用紙の決められた所に受験番号を書き、問題のページ数を確かめてから始めなさい。
- 3 問題は20ページまであります。ページの不足や乱れがあったら、だまって手をあげなさい。
- 4 印刷のはっきりしていない所があったら、だまって手をあげなさい。
- 5 試験終了^{しゅうりよう}のチャイムが鳴ったら、すぐ鉛筆^{えんぴつ}を置き、解答用紙を、表を上にして問題用紙の上に置きなさい。

受 験 番 号

(問題は次のページから始まります。)

次の文章を読み、問いに答えなさい。

現在、人類は、解決するための方法が簡単には見つからない多くの問題に直面しています。その中でも最も深刻な問題の一つは環境問題でしょう。人類の活動により、これまで生命を育ててきたシステムに限度を超える負担がかかっています。二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの大量排出は、気温の上昇、寒暖の極端さ、集中豪雨の増加、海水面の上昇などの①気候変動の主な要因と考えられています。

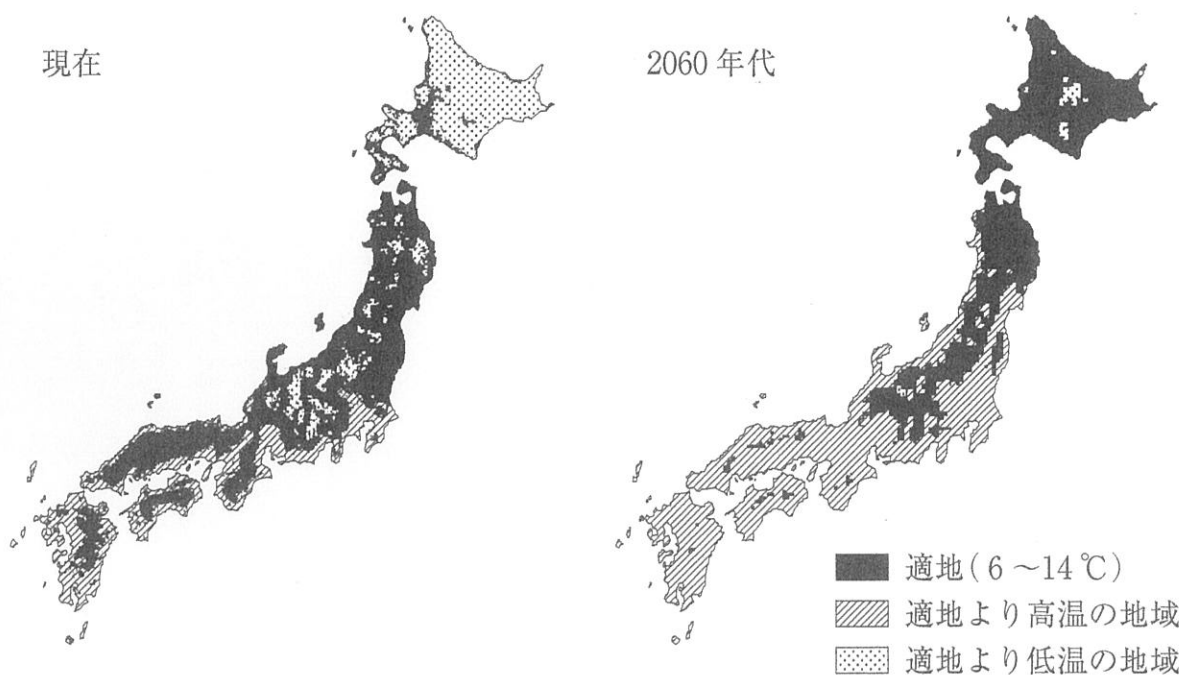
私たちはどうすればよいのでしょうか。環境問題の背景の一つには、②経済成長を何よりも優先する考え方があるといわれています。20世紀後半、各国の政府や企業、多くの経済学者は、③GDP(国内総生産)によって計測できる経済成長が、永遠に続くと思ってきました。実際に、こうした想定が正しいかのように、20世紀半ば以降、欧米や日本はこれまでに例を見ない経済発展を経験しました。その結果、④いわゆる先進国の多くの人々は、想像すらできなかった物質的な豊かさを手に入れ、多くのモノを消費することが可能になりました。さらに、20世紀末以降になると、それまで発展途上国とされた地域でも先進国と同様の物質的豊かさを手に入れる人々が急増しました。⑤際限のない経済成長という考え方は、自然が提供してくれるさまざまな資源を無限に利用してモノをつくり出すこと、そして人々が限度なく消費を行うこと、結果として⑥大量の廃棄物が生まれることを前提としています。ただ、地球は、こうした人間の節度のない活動にもう耐えきれなくなっています。

限りある資源の範囲内で、地球上のすべての人々が、より人間的で幸福な生活を実現していくために、私たちはどのように考え、どう行動すればよいのでしょうか。⑦国際情勢とその中で日本が置かれている状況が目まぐるしく変化している中で、⑧意思決定も容易ではありませんが、かといってそのんびりと構えていることもできません。次世代を担う皆さんは、自然との調和や節度ある豊かさを重視した過去の人類の価値観や行動様式に学びながら、最新の科学的知見を十分にふまえ、人類の歴史上かつてないほど世界の諸地域が一体化したこの時代にふさわしい、創造的で公正な新しい価値観や行動のスタイルをあきらめずにねばり強く、考えていくことが必要になります。それは困難な作業かもしれませんが、よりよい社会の構築への希望にもあふれているように思えます。

問 1 下線部①に関して。気候変動の影響の被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていくことが求められています。例えば、りんごなどの果物の栽培においてもその必要性があります。このまま気候変動が進んだ場合、りんごの栽培に適した土地(適地)は図1のように変化すると予測されています。図1から読みとることができないものを、ア～エから1つ選びなさい。

- ア 2060年代の日本におけるりんごの総生産量が半減することが予測されている。
- イ 栽培適地は、全体的に北上し、北海道で拡大していくことが予測されている。
- ウ 栽培適地は、西日本にも残るが、多くが標高の高いところだけになると予測されている。
- エ 本州の日本海側にりんご栽培には適さない高温の地域が広がることが予測されている。

図1 りんごにおける適地の変化



※「現在」は1971～2000年の平均値、「2060年代」は2061～2069年の推定値をもとにしている。

(気候変動適応情報プラットフォームホームページより)

問 2 下線部②に関して。経済成長を重視する考え方の根底には、^{かくとく}獲得された富のうち、もうけとなる部分をさらなる事業の拡大などのために使って、将来、より多くの富を生み出すことを目指す、資本主義の考え方があります。ただ、こうした考え方は、あらゆる地域・時代において支配的だったわけではありません。そのことは、古代において支配者たちが、その時代の生産力の水準につり合わないほど^{こうか}豪華な建造物や工芸品をつくり出したことにあらわれています。例えば、その一例として日本の^{だいせん}大仙(大仙^{りょう}陵／^{だいせん}大山)^{こふん}古墳があげられます。大仙古墳に関連する以下の問いに答えなさい。

- (1) 大仙古墳は日本列島における最大の^{ぜんぽうこうえんふん}前方後円墳です。この古墳をつくるのに^{ぼうだい}膨大な費用・材料・労働力・時間が必要でした。1985年に発表された、ある研究成果によると、ピーク時で1日、約2000人が働いて15年8か月を必要とし、作業員数はのべ680万7000人にのぼったと試算されています。古墳に^{まいそう}埋葬された支配者(大王)を中心とする、古墳建造を推進した支配者層が、労働力を含む^{ふく}膨大な富を巨大古墳建造に投じた理由は何でしょうか。この問いに対する答えは研究者の間でもさまざまですが、ここでは下記の文1～2の内容をふまえて、説明しなさい。

著作権の関係上、非表示にしています。

- (2) 大仙古墳は大阪府^{さかい}堺市に位置しますが、次の史料1は、江戸時代後半の1837年に大坂^{おおさか}(江戸時代の大坂の表記)で発生した反乱に関するものです。

著作権の関係上、非表示にしています。

- ① 史料1の書き手の名を答えなさい。
- ② 史料1では書き手が反乱を起こすに至った理由が示されています。日本列島の歴史において生じた反乱や暴動について述べた説明として正しいものを、ア～エから1つ選びなさい。

ア 貴族の指導的立場にあった源氏が、自らの娘^{むすめ}を天皇に嫁^{とつ}がせたりすることで大きな権力を握^{にぎ}った武家の平氏に対し、反乱を起こした。

イ 蝦夷地^{えぞち}における交易を独占^{どくせん}していた松前藩^{まつまえはん}の不正な取引に対して、アイヌの人々はシャクシャインを中心に立ち上がった。

ウ 西南戦争では、徴兵令^{ちようへいれい}で集められた政府軍の兵士と、地租^{ちそ}に苦しむ鹿児島^{しやうとつ}の農民たちを中心とした反乱軍が衝突し、政府軍が勝利した。

エ 秩父事件^{ちちぶ}は、貧困化した農民を中心とする民衆が、負債^{ふさい}の減免^{げんめん}を求めて起こした反乱であり、自由民権運動とは関わりがなかった。

- ③ 史料 1 の下線部に関して。江戸時代、天下の台所と呼ばれた大坂の中之島^{なかのしま}とその周辺には、西日本や日本海側の大名が図 2 のような施設^{しせつ}を設置していました。この施設の名前を答えなさい。

著作権の関係上、非表示にしています。

問 3 下線部③に関して。GDP(国内総生産)とは、ある国や地域で一定期間に生み出された価値を合計した金額のことです。国の経済規模を知る目安にもなるので、何かの金額がその経済規模に見合ったものなのかを分析する材料にもなります。これに関連する以下の表 1 からわかることとして誤っているものを、ア～エから 1 つ選びなさい。

表 1 主要国の軍事費(防衛費)順位と GDP 比の推移

	2000 年		2010 年		2020 年	
	金額(順位)	GDP 比	金額(順位)	GDP 比	金額(順位)	GDP 比
米国	3,201(1 位)	3.1 %	7,380(1 位)	4.9 %	7,784(1 位)	3.7 %
中国	222(6 位)	1.8 %	1,055(2 位)	1.7 %	2,580(2 位)	1.8 %
インド	143(9 位)	3.0 %	461(7 位)	2.9 %	729(3 位)	2.9 %
ドイツ	265(5 位)	1.4 %	430(9 位)	1.3 %	533(7 位)	1.4 %
日本	455(2 位)	0.9 %	547(5 位)	1.0 %	514(9 位)	1.0 %

※金額単位：億ドル

(ストックホルム国際平和研究所ホームページより作成)

- ア 中国の軍事費の伸^{しん}長^{ちやう}が目立つが、GDP 比がさほど変化していないところを見ると、この期間の中国の GDP の伸^のびが大きかったことがわかる。
- イ 日本は軍事費の順位を落としてきているが、これにはこの期間の日本の GDP が伸びなかったことも関係している。
- ウ 2020 年を基準に考えると、もし日本の防衛費が GDP 比 2 % に達したとすると、その防衛費は世界 3 位となる。
- エ インドの GDP はこの期間に規模を拡大させており、その結果、2020 年時点では日本を抜^ぬくことはできていないものの、ドイツの GDP を上回ったことがわかる。

問 4 下線部④に関して。日本が、物質的な豊かさを手に入れた高度経済成長期の1970年に開催された日本万国博覧会(大阪万博)のテーマは、「人類の進歩と調和」でした。当時の日本では、社会は今よりも良くなっていくのではないかという雰囲気^{ふんいき}が、ある程度共有されていました。1970年の大阪万博閉幕後の出来事として正しいものを、ア～オから1つ選びなさい。

ア 東海道新幹線が開通し、高速道路の建設が進んだ。

イ 石油を原料とするプラスチックやビニールが普及^{ふきゅう}した。

ウ 水俣病をはじめとする深刻な公害が広く知られるようになった。

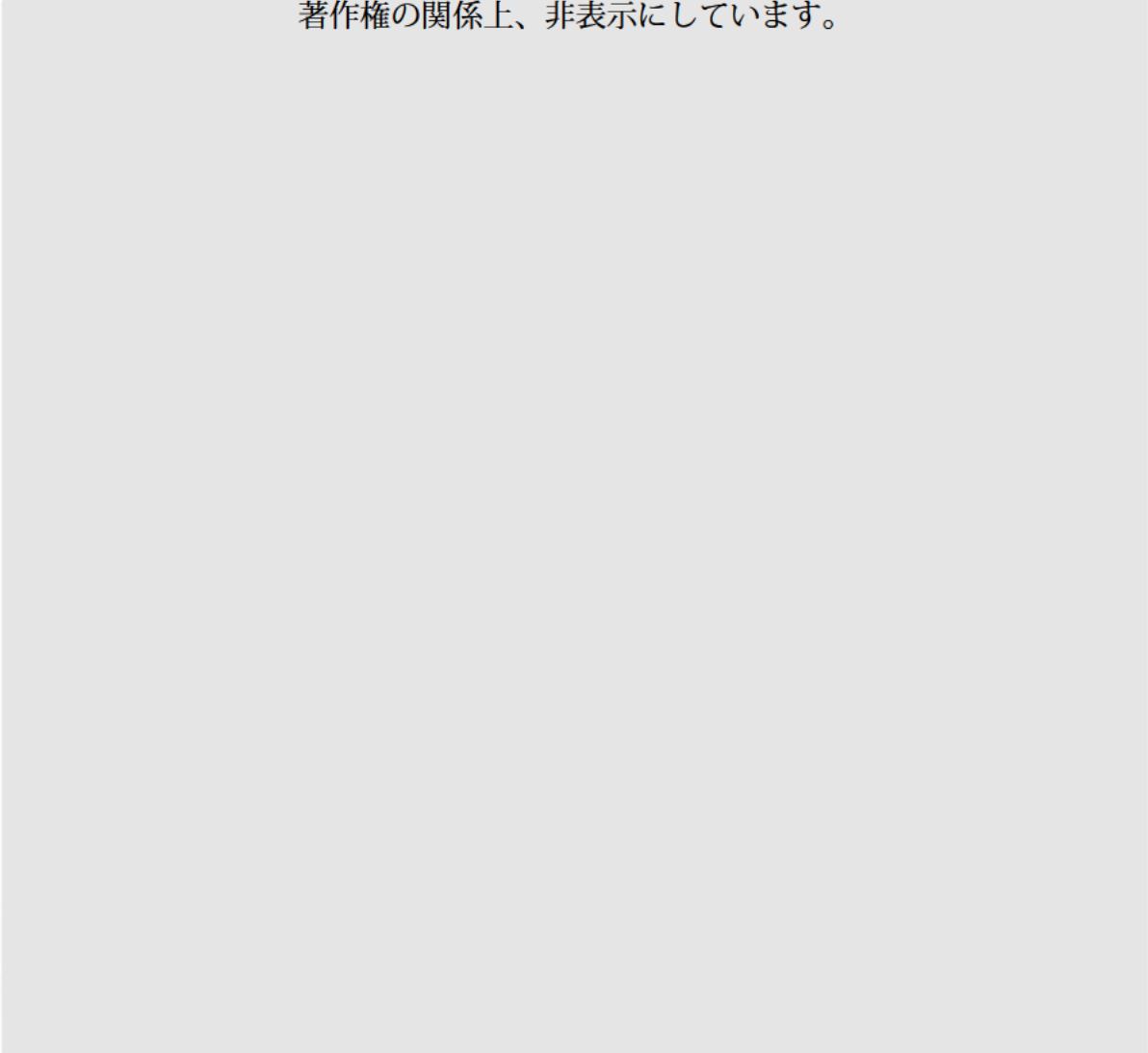
エ 洗濯機^{せんたく}や冷蔵庫^{れいぞうこ}の一般家庭への普及がはじまった。

オ カラーテレビの普及率が白黒テレビを上回った。

問 5 下線部⑤に関して。人間が生活する上で、自然への働きかけは必要不可欠なものでした。江戸時代には、列島各地の山野や沼^{ぬま}などを耕作地^{てんかん}に転換する「新田開発」が進められた結果、17世紀には耕地面積がいちじるしく増加し、それにともない農業生産量も拡大しました。一方、18世紀から19世紀にかけては、耕地面積の伸びは鈍^{にぶ}ったものの、農業生産量は引き続き上昇したことが明らかになっています。江戸時代の新田開発や農業技術に関連する以下の問いに答えなさい。

- (1) 江戸時代に推進された新田開発は、経済成長をもたらした一方で、必ずしも歓迎^{かんげい}されたわけではありませんでした。以下の史料2にあるように、山城国^{やましろのくに}相楽郡^{そうらくぐん}綺田村^{かばたむら}(現在の京都府木津川市)の村役人は、平尾村^{ひらおむら}と共同で利用する山の一部を、隣接^{りんせつ}する和東村^{わづかむら}(現在の京都府和東町)の村人が開発しようとしていることに反対しています。もともと綺田村・平尾村と和東村は、山にある村の境界などをめぐって対立していましたが、それ以外にも、綺田村には新田開発に反対する理由がありました。なぜ綺田村は新田開発に反対したのでしょうか。史料2から読み取れることをふまえ、説明しなさい。

著作権の関係上、非表示にしています。



- (2) 18世紀以降も農業生産量が増加した背景には、「農書」と呼ばれる農業に関する技術書の刊行やより効果的な肥料の流通などがあげられますが、それまでに使用されていた農具が改良されたことも影響しています。以下の図3は、1843年に成立した「農書」のさし絵です。図3の①・②の農具の名前とその使いみちの組み合わせとして正しいものを、ア～カからそれぞれ1つずつ選びなさい。

著作権の関係上、非表示にしています。

- | | | | |
|---|----------------------------|---|--|
| ア | 備中鋤 <small>びつちゅうぐわ</small> | : | 稲や草を刈る。 |
| イ | 千歯扱 <small>せんばこ</small> き | : | 乾燥 <small>かんそう</small> させた稲の穂先 <small>ほ</small> から粃 <small>もみ</small> （穀付きの米）を落とす。 |
| ウ | 唐箕 <small>とうみ</small> | : | 風の力を利用して粃からわらくずなどを取り除く。 |
| エ | 備中鋤 | : | 田畑 <small>ほ</small> を掘り起こす。 |
| オ | 千歯扱 <small>せんばこ</small> き | : | 風の力を利用して粃からわらくずなどを取り除く。 |
| カ | 唐箕 | : | 乾燥させた稲の穂先から粃（穀付きの米）を落とす。 |

(問題は次のページに続きます。)

問 6 下線部⑥に関して。廃棄物の対策には、3R(リデュース、リユース、リサイクル)への積極的な取り組みが求められています。表2は環境省が発表した2022年度におけるリデュース取り組みの上位3市町村を示しています。長野県^{かわかみむら}川上村に関する以下の問いに答えなさい。

表2 リデュース取り組みの上位3市町村(人口10万人未満)

	市町村	1人1日あたりのごみ排出量
1	長野県川上村	283.3 g
2	長野県 ^{みなみまきむら} 南牧村	319.4 g
3	徳島県 ^{かみやまちょう} 神山町	393.0 g

※「ごみ排出量」には、自治体の回収とは別に家庭で処理したごみは含まれない。
(環境省『一般廃棄物の排出及び処理状況等(2022年度)について』より作成)

著作権の関係上、非表示にしています。

(1) 川上村において、リデュースに大きく^{こうけん}貢献したと考えられる取り組みを、資料1をふまえて答えなさい。

(2) 川上村は、レタスの栽培が^{さか}盛んです。図4は、2023年1～12月における長野県から東京都中央^{おろしうり}卸売市場へ^{しゅつ}出荷される3つの作物の月別出荷割合(%)で、線a～cは、レタス、はくさい、しめじのいずれかを示しています。線a～cと作物の正しい組み合わせを、ア～カから1つ選びなさい。

ア	a : レタス	b : はくさい	c : しめじ
イ	a : レタス	b : しめじ	c : はくさい
ウ	a : はくさい	b : レタス	c : しめじ
エ	a : はくさい	b : しめじ	c : レタス
オ	a : しめじ	b : レタス	c : はくさい
カ	a : しめじ	b : はくさい	c : レタス

著作権の関係上、非表示にしています。

- (3) 図5は、川上村における2000年と2020年の人口ピラミッドを示しています。この2つを比較すると、この20年で20代～30代前半男性の割合の上昇が目立っていることがわかります。なぜ20代～30代前半男性の割合が上昇したのでしょうか。資料1も参照しながら説明しなさい。

著作権の関係上、非表示にしています。

- (4) 資料2の地図から読み取れることとして誤っているものを、ア～オから2つ選びなさい。

ア JR小海線は、災害のリスクが低い台地上を通っている。

イ 大深山遺跡は、地図にみられるどの神社よりも標高が高いところに位置している。

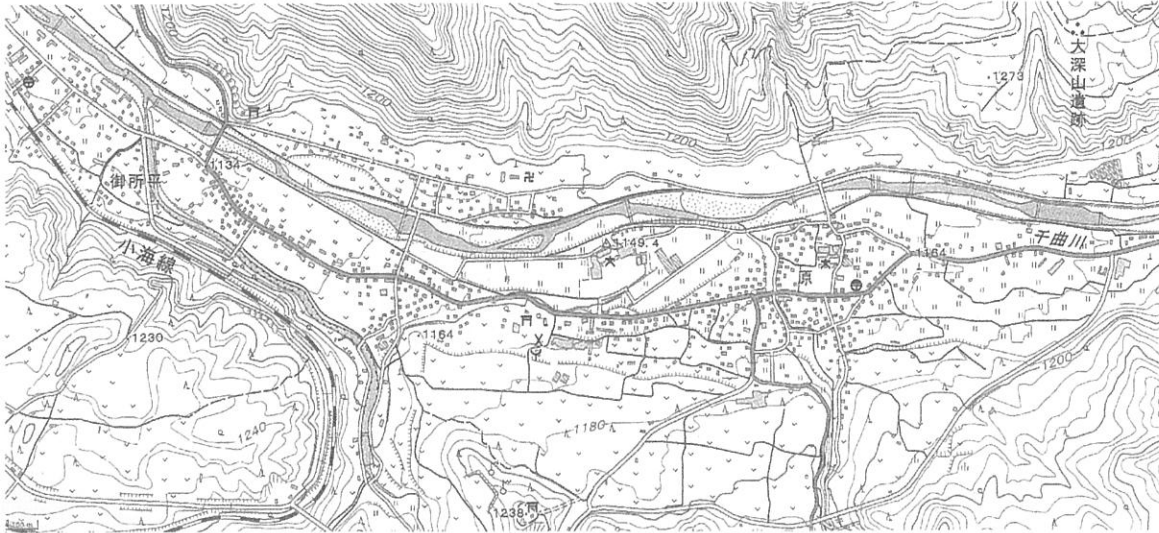
ウ 洪水浸水想定で危険度が最も高いのは、御所平付近の河川の合流点より下流である。

エ 地図中にみられる2つの小・中学校は、どちらも洪水浸水の恐れがあるが、土砂災害の恐れがあるのは西側にある学校だけである。

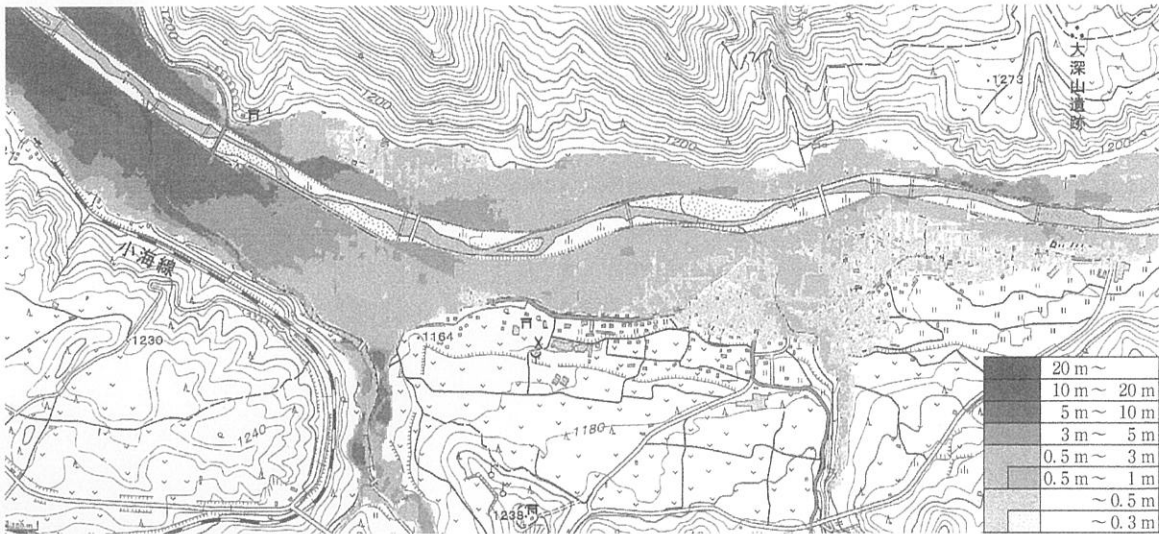
オ 消防署は洪水浸水想定、土砂災害警戒の危険度のどちらも低いところに位置している。

- (5) 資料2の地図中の河川の河口にあたる都道府県名を答えなさい。

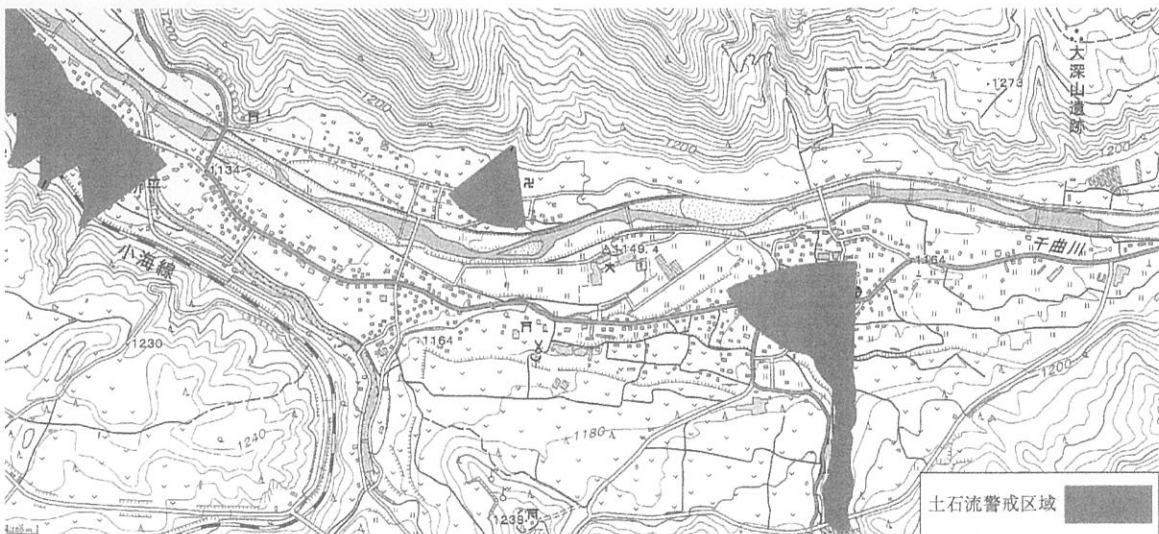
資料2 長野県川上村における各種地図



2万5000分の1地形図



洪水浸水想定区域



土石災害警戒区域 (国土地理院「重ねるハザードマップ」より)

問 7 下線部⑦に関して。現在、私たちがくらしている「日本」という枠組み^{わくぐみ}について考えてみると、「日本」に含まれる領域は、時期によって変化していたことがわかります。下記の図 6 は、天体観測を行いながら全国を測量した伊能忠敬^{いのうただたか}が亡くなったあと、弟子^{でし}が完成させた地図です。1 回目の測量は、江戸を出発し、目的地である蝦夷地とその途中^{とちゅう}にある東北・北関東からはじめられました。それまでに作製された地図とは異なり、高い精度で描^{えが}かれたのは、特に 19 世紀になると、江戸幕府が(A)背景がありました。

一方、図 7 は第 2 次世界大戦より前に発行された地図帳の一部です。この地図は、図 6 や明治時代以降に導入された欧米の測量技術をもとに作製されていると考えられますが、現在の日本地図と異なることがわかります。

図 6



(国土地理院「古地図コレクション」より)

著作権の関係上、非表示にしています。

(1) 空欄(A)に入る文として正しいものを、ア～エから1つ選びなさい。

- ア 外国の脅威^{きょうい}に対する防衛体制を固めようとした
- イ 諸外国に対して測量技術の高さを示そうとした
- ウ 外国との貿易に適した港を建設しようとした
- エ 武力で蝦夷地を制圧しようとした

(2) 図7の地図が発行されたと考えられる時期として正しいものを、以下の年表中のア～エから1つ選びなさい。

年表

1895 年	下関条約が結ばれる ア
1905 年	ポーツマス条約が結ばれる イ
1910 年	韓国(朝鮮) ^{かんこく ちょうせん} を併合 ^{へいごう} する ウ
1919 年	三・一独立運動 ^{さんいつどくりつうんどう} ※が起きる エ

※朝鮮全土に広がった、独立を求める朝鮮の人々の、日本に対する抵抗運動。

問 8 下線部⑧に関して。駒山^{こまやま}中学校があるK市では、山の道路開発事業に関して住民の意見が割れています。次の駒山中学1年生の会話と関連する資料3を見て、続く問いに答えなさい。

生徒1：僕は開発賛成。都会に出やすくなれば急病の時も安心だし、仕事が増えれば地元に残る若者も増えると思うんだよね。

生徒2：僕は反対。水源に影響が出るという話もあるし、伐採^{ばっさい}で破壊^{はかい}される自然のことも考えれば、便利さや利益だけを追求しちゃいけないと思う。

生徒3：(あ)国の予算から補助金も出るから、住民が賛成なら進めていいんじゃない。

生徒1：それならこの住民意識調査Aの結果を見てよ。「開発賛成7割」なんだから、住民の意思は明らかだね。

生徒2：いやいや、住民意識調査Bの結果なら、「開発反対6割」とあるよ。調査Cだって、賛成は3割もない。

生徒3：い結果がバラバラじゃないか。どの調査結果をもとに判断したらいいの？

生徒1：こうなったら、K市市民に直接賛否を問う住民投票をやるしかないね。

生徒2：それだと僕たちが投票できないのでは。

生徒3：この場合の住民投票は、憲法ではなく、市のルールである(D)に基づくものだから、中学生にも投票権を与える(D)を制定してもらえれば僕たちも投票できるよ。

生徒2：僕たちが中学生でいる間に実現するかな…。まずは市議会の傍聴^{ぼうちょう}にでも行ってみる？

生徒1：賛成！(5)国会議事堂は見学したことがあるのに、地元の議会には行ったことがないのもどうかと思ってたんだ。みんなにも声かけてみようよ。

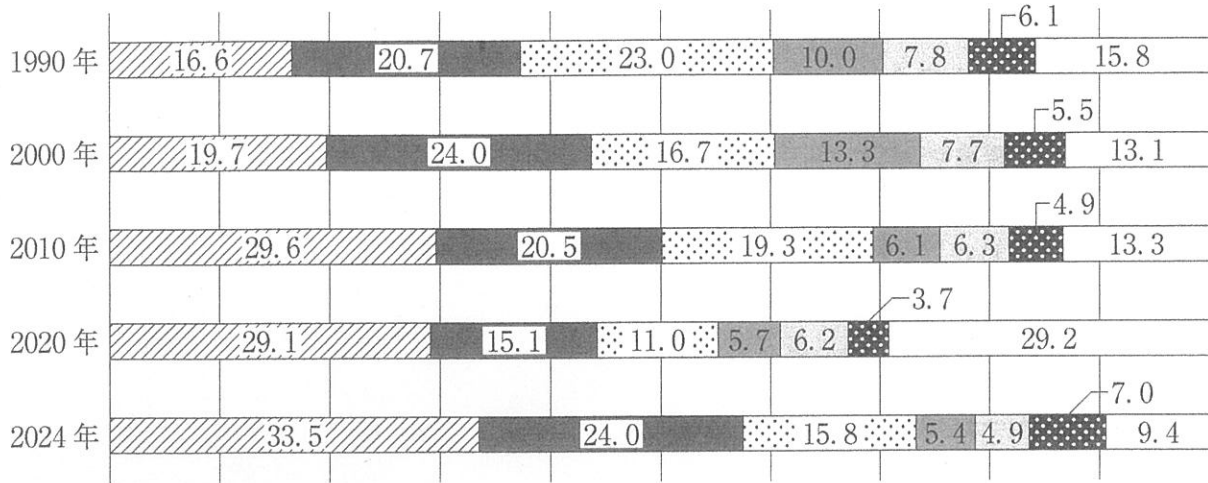
資料3 K市住民意識調査結果

<住民意識調査A> 開発賛成7割	<住民意識調査B> 開発反対6割	<住民意識調査C> 開発賛成28%
調査主体：A新聞 調査方法：電話法 調査期間：2025年1月 調査相手：18歳以上のK市市民から無作為 ^{むさうい} に選んだ。 回答数：1,000人 質問と回答： あなたは、現在K市が計画している道路開発事業について、賛成ですか、反対ですか。 ・全面的に賛成 8% ・必要最小限の開発には賛成63% ・全面的に反対 29%	調査主体：B新聞 調査方法：電話法 調査期間：2025年1月 調査相手：18歳以上のK市市民から無作為 ^{むさうい} に選んだ。 回答数：1,000人 質問と回答： 現在K市が計画している道路開発事業について、自然環境や生態系への影響も懸念 ^{けんねん} されています。あなたはこの事業に賛成ですか、反対ですか。 ・賛成 37% ・反対 63%	調査主体：Cテレビ 調査方法：電話法 調査期間：2025年1月 調査相手：18歳以上のK市市民から無作為 ^{むさうい} に選んだ。 回答数：1,000人 質問と回答： あなたは、現在K市が計画している道路開発事業について、賛成ですか、反対ですか。それとも、どちらともいえませんか。 ・賛成 28% ・反対 22% ・どちらともいえない 50%

(1) 空欄(D)にあてはまる語句を漢字で答えなさい。

(2) 下線部(あ)に関して。図8は国の予算(一般会計)における1年間の支出(歳出^{さいしゅつ})の内訳の変化を示したものです。図中のX、Y、Zにあてはまるものの組み合わせとして正しいものを、ア～カから1つ選びなさい。

図8 国の予算における1年間の支出の内訳の変化(単位：%)



※ 1990～2020 年度は決算額のもので、2024 年度は年度当初の予算額のもの。

(財務省ホームページより作成)

- | | | | |
|---|---------|---------|----------|
| ア | X：国債費 | Y：社会保障費 | Z：警察と消防費 |
| イ | X：社会保障費 | Y：国債費 | Z：警察と消防費 |
| ウ | X：国債費 | Y：社会保障費 | Z：少子化対策費 |
| エ | X：社会保障費 | Y：国債費 | Z：少子化対策費 |
| オ | X：国債費 | Y：社会保障費 | Z：防衛費 |
| カ | X：社会保障費 | Y：国債費 | Z：防衛費 |

(3) 下線部*い*の状況を説明しようとする以下の空欄をうめ、文章を完成させなさい。

資料3からわかることとして、調査Aの賛成が多いのは、(E)
からと考えられる。一方で調査Bの反対が多いのは、(F)から
と考えられ、調査Cで賛成割合が低いのは、^{せんたくし}選択肢が「どちらともいえない」を含
む3つであるため、賛成・反対の割合がどちらも下がったからだと考えられる。
意識調査や世論調査の結果を分析する際には、(G)に注意を
払うことが重要だとわかる。

- (4) 下線部(う)に関して。次は、市議会傍聴の予習として、生徒1がさまざまな議場や法廷^{ほうてい}について調べたことのまとめです。文中の下線部(ア)～(オ)の中から、誤りのあるものを1つ選びなさい。

くさまざまな議場や法廷についてのまとめ>

議場や法廷のつくりをみると、そこでどのような会議や審理^{しんり}が行われるのかある程度推測できることがわかった。

例えば、(ア)写真1は日本の国会議事堂だが、議場正^{おく}面奥の、議員席より高い位置に首相や大臣の席があり、議員と対面する配置になっている。国会議員同士の討論というより、特定の議員の質問や、首相や大臣の答弁が主に行われていることがうかがえる。

写真2はイギリスの国会議事堂のもので、(イ)議席が左右に分かれていることから、政権を担当する政党とそうではない政党が対面し討論をすることが想定されている配置だとわかる。

どちらの例とも違うのが国際連合の安全保障理事会の写真3である。(ロ)発言者専用^{えんだん}の演壇のない円状の議席配置から、参加国が対等^{たいが}の立場で互いの顔を見ながら議論ができることが目指されているつくりだと推測できる。議長国も1か月ごとに交替^{こうたい}するそうだ。

写真4は日本の裁判所の様子だ。(エ)正面奥の上段に一列に並ぶ席の数から、裁判員裁判の法廷であることがわかる。裁判員も裁判官と同様に、審理中に質問などの発言ができる立場であることが推測できる。

写真5は国会の施設内にある弾劾^{だんがい}裁判所だ。裁判官にあたる人の席が14あり、多数決の際に困るのではないかと思うが、(オ)裁判官を裁く重要な場面で国会の両議院から同じ数の「裁判官」を出すことを重視しているのだと考えた。

著作権の関係上、非表示にしています。

著作権の関係上、非表示にしています。

問 1	
問 2	(1)
	(2) ①
	(2) ②
	(2) ③
問 3	
問 4	
問 5	(1)
	(2) ①
	(2) ②
問 6	(1)
	(2)
	(3)
	(4) と
	(5)
問 7	(1)
	(2)
問 8	(1)
	(2)
	(3) E
	(3) F
	(3) G
	(4)

受 験 番 号	
------------	--

社 会